

令和六年度 学校関係者評価委員会報告書

世田谷区立弦巻中学校 学校関係者評価委員会

本委員会では「世田谷区立学校 学校評価システム」に基づき実施されたアンケート（在校生・保護者・地域対象）の結果を分析し、教職員、委員間での意見交換を経て下記のとおり評価するものとし、報告いたします。なお、本報告書は全体的傾向を捉えまとめたものです。アンケート結果（全体の数値）は、本校のホームページに掲載されますので、そちらも併せてご参照ください。

〔全体総括〕

本年度も生徒・保護者共に学年を問わず、ほとんどの項目で肯定的な回答（とても思う、思う）が多く得られていたことを、引き続き高く評価させていただきます。コロナ禍の影響で人と人との関係性や距離感が大きく変容していると言われていた昨今ですが、この傾向が続くことは大変望ましく、今後にも期待が持てることです。特に授業や行事等、学校生活でしか得られない経験に対して保護者・生徒共に約9割の肯定評価が得られていることは、大切な指標であると考えます。

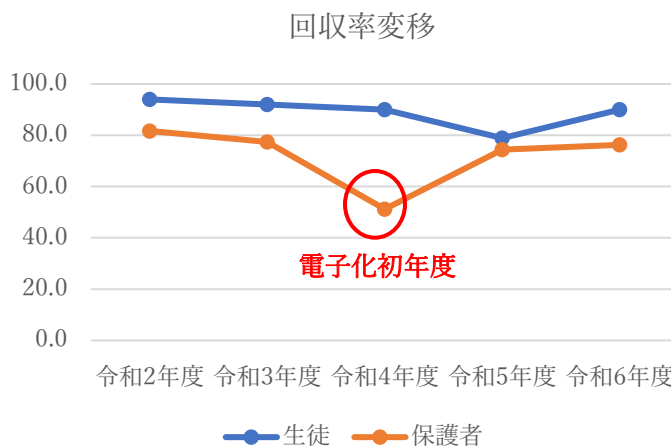
〔定点比較〕

本委員会では毎年、本アンケートの「回収率」とホームページ等からの「情報発信」に関する回答及び、学校生活において重要度の高い「学校行事について」の関連回答を、定量的指標として注目しております。

1) 回収率について

本アンケート制度は、学校生活について生徒が実感を持つこと、保護者や地域の方に関心を持って見守られる為に必要なものと、本委員会で毎年回答率に注目をしております。今回の回答率は生徒90.0%・保護者76.4%と高いものでした。

回答方法は令和4年度にそれまでの紙面によるものから学校連絡メール「すぐーる」を利用した電子化に変更されました。電子化初回に低くなってしまった回収率の向上施策引き続き進められ、本年度は紙面回答時と同様の回収率となりました。毎年改善に努められた成果があらわれた結果となっています。今後も引き続き回収率が下がらないよう依頼や回収の方法についてはご留意いただき、今後も本制度の在り方や意義について理解が深耕することを望みます。



2) 情報発信について

ホームページでの情報発信頻度が飛躍的に向上して以降、情報伝達に対する評価は変わらず高いものとなっています。保護者にも地域の方にも学校生活の様子がよくわかるものとして定着しているようです。校舎の改築工事へ向け令和6年12月より仮校舎建設工事も開始されました。今まで以上に本校の様子に注目が集まることも視野に入れ、「学び舎」「地域連携活動」「ボランティア活動」等多方面の情報発信にも活用をお願いいたします。毎年これら活動への理解が数値上では低いので、どのようなことが行われているか、わかりやすく伝わる工夫もお願いいたします。

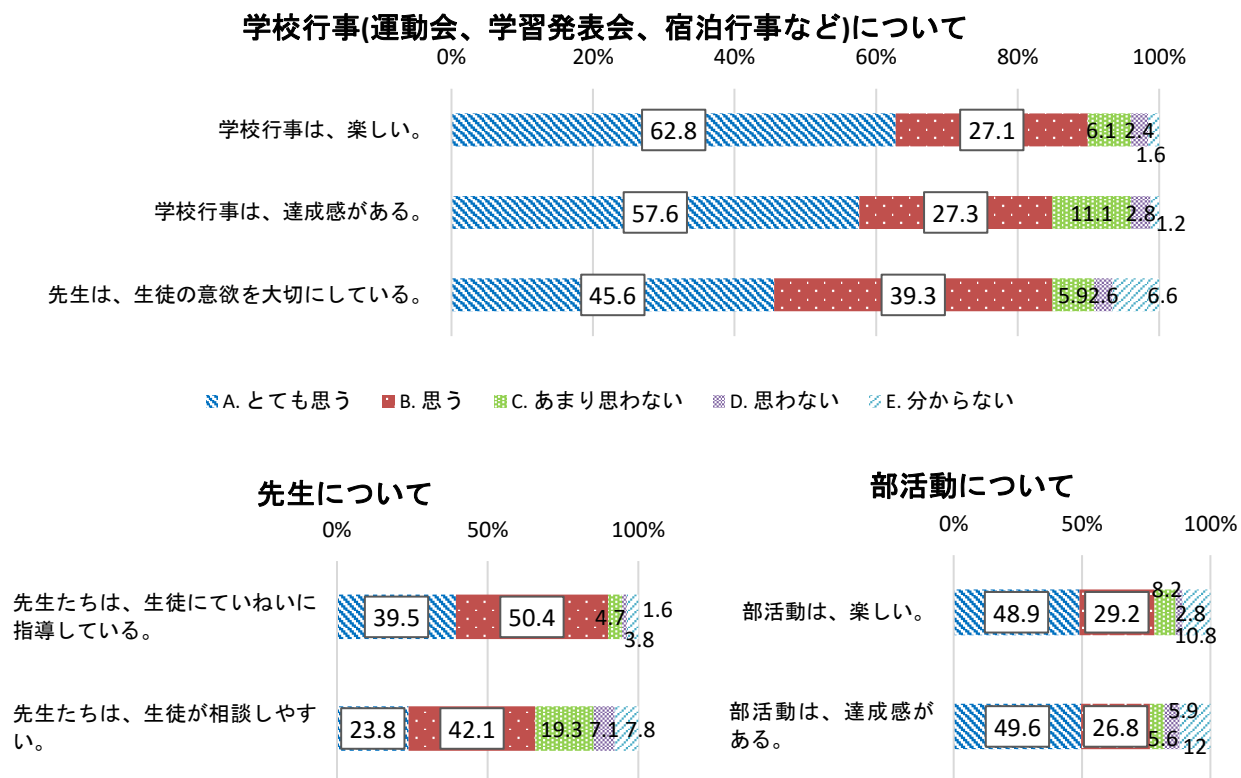
3) 学行行事・学校生活・部活動について

学校行事に関して、生徒・保護者共に今年度も約9割の肯定評価が得られていました。活気が戻った学校の様子が数値にも表れています。2・3年生の「先生は、生徒の意欲を大切にしている。」への回答で、各学年「とても良い」が大きく上昇していました(2年生 42.6%昨年度比+13.8P/3年生 55.9%同+15.9P)。学校生活を経る中、楽しいだけでは無く意欲に繋がっていることは重要な点であると注目いたしました。保護者からの肯定評価が高いこととも結び付いているように思います。

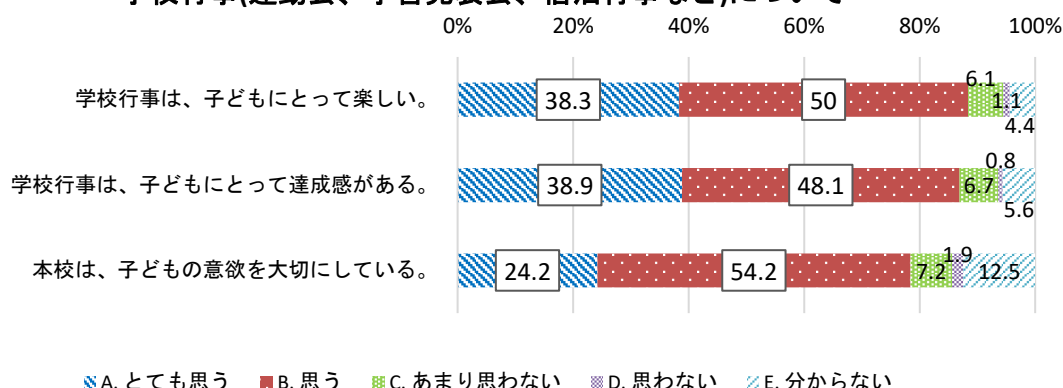
学年を通し「先生方が丁寧に指導している」と合わせ「相談がしやすい」も生徒・保護者共に肯定評価が高く、高い信頼関係が伺えます。

部活動についても生徒からは「楽しい」「達成感がある」の肯定評価が高く、特に3学年が一番高い評価となりました。こちらの数値からも充実した学校生活の様子がうかがえます。

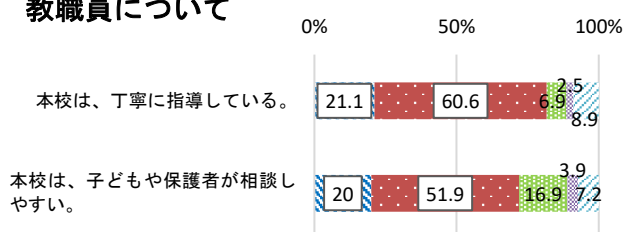
生徒全体回答



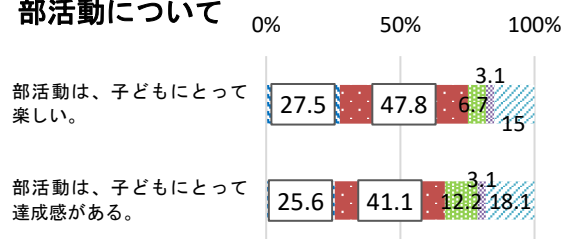
学校行事(運動会、学習発表会、宿泊行事など)について



教職員について



部活動について



[重点目標に対する達成状況について]

本校では教育目標を「優しくいっぱい弦巻中」優心・優考・優健とし、教育活動を推進しています。以下3点を重点目標とし具現化に向けた方策を図られていますので、本校独自設問への結果により振り返ります。

<重点目標>

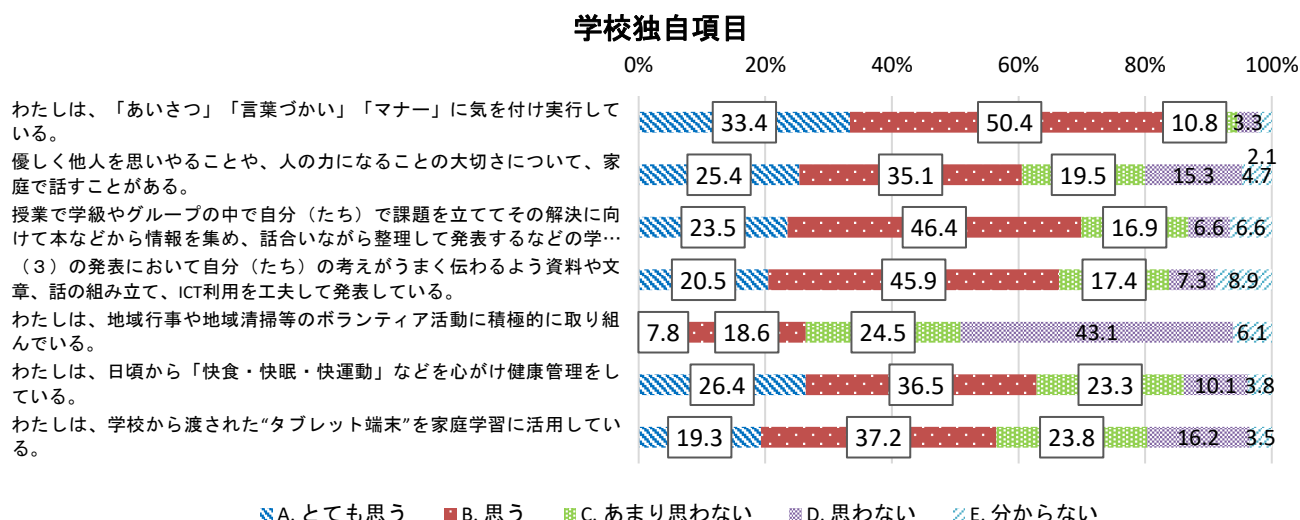
- (1) 「優しく他人を思いやることを心がけて人と接し、人や社会の力になることができる」生徒の育成。
- (2) 知識や技能を活用して考えたり議論したり、発表する時に豊かに表現する力が身に付くようにする。
- (3) 日頃から「快食・快眠・快運動」など健康管理や体力を向上する習慣が身に付くようにする。

昨年度「挨拶・マナー」「他人への思いやり」に対して、保護者からも地域からも例年通りの高い評価（それぞれ約9割）をいただきながらも、生徒の自己評価が少し下がっていることに懸念がありました。校内での挨拶の声が減っているとの委員（当時）の実感も有り、コロナ禍におけるコミュニケーション経験が不足している可能性を示唆し、本校で歴年大切にされてきた「優しく他人を思いやることを心がけて人と接している。」と、生徒が実感できているのか注力いただけるようお願いいたしました。

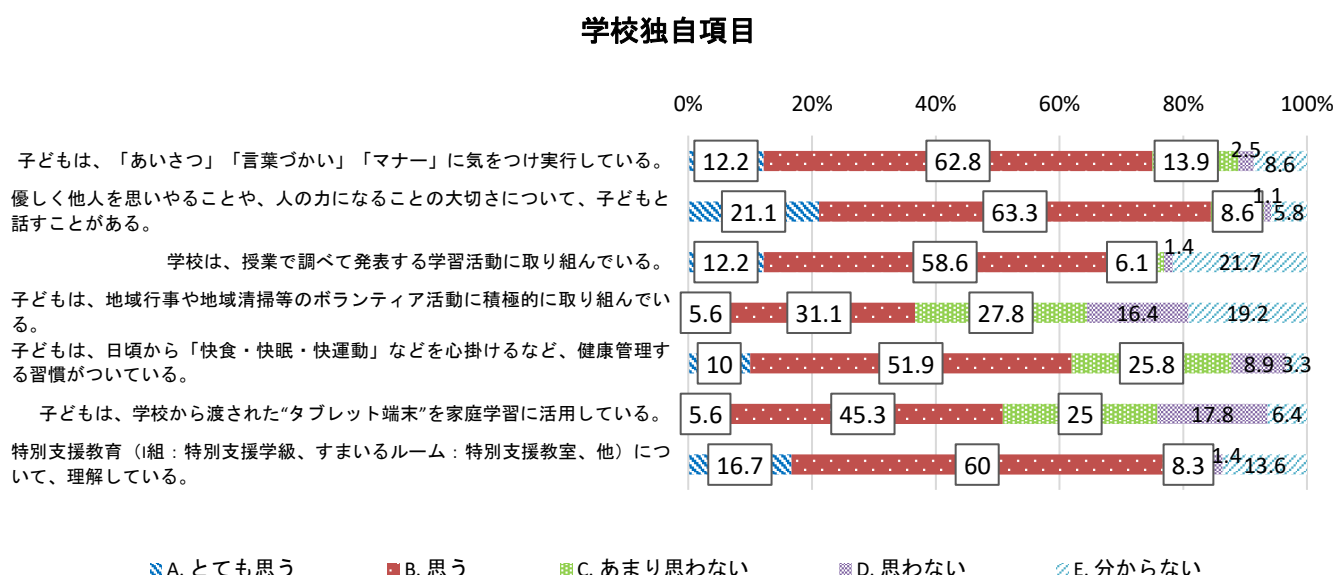
今年度、回答の数値は例年通り（約9割）でしたが、校内での挨拶は格段に増えました。保護者委員からも本校生徒の挨拶は強く印象に有るとの声もありました。生徒会でも挨拶運動に熱心に取り組んでいるとのこと含め大きな成果に繋がりました。

●弦巻中学校独自項目

生徒全体回答



保護者全体回答



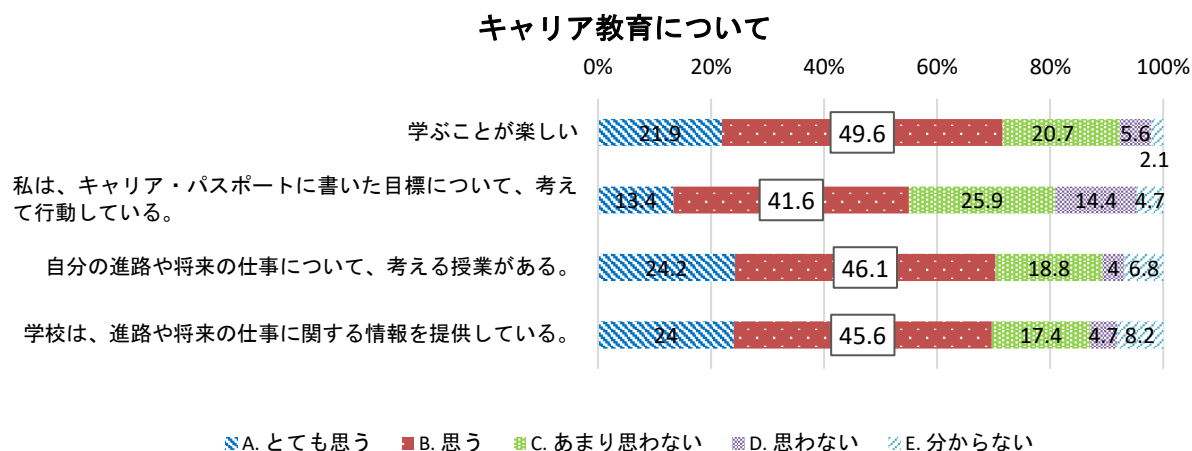
〔その他注目される事項について〕

1) キャリア教育について

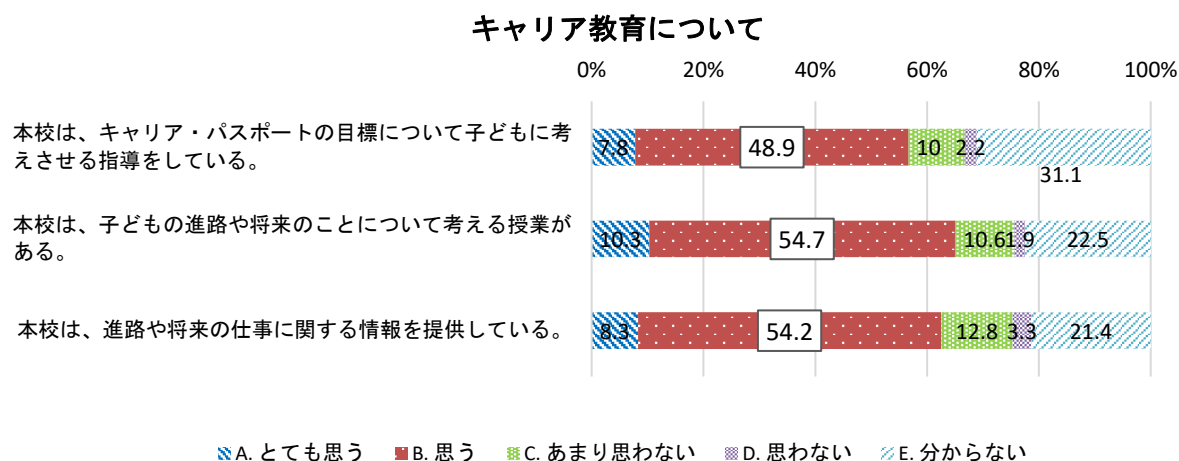
学校行事や学業全般を自ら目標化し振り返る「キャリア・パスポート」は導入から４年が経過しました。「キャリア・パスポート」の目標感に対する設問では、生徒からの「分からない」の回答は少なく制度の理解度も高いようです。この設問に対し生徒では「あまり思わない」保護者では「分からない」がいずれも約３割となっていますが、その他のキャリアを考える授業や情報提供に対しての設問に対しては、生徒・保護者共に約７割と高い肯定評価となっていることから、本質的なキャリア教育に取り組んでいると考えられます。今後は制度の認知も意識した理解深耕をお願いいたします。

●キャリア教育について

生徒全体回答



保護者全体回答



〔最後に〕

本年度も全般的に学校生活が楽しく充実している様子や、学校と保護者との信頼関係が伺い知れる結果となりました。本校においては例年通りの結果であり何よりの成果です。圧倒的に実経験が乏しかったコロナ禍での学校生活と現在では、得られるものの量や重さも変わっていると思われます。委員会討議の中で先生方より「生徒主体の視点は変えず、同じことには甘んじず、新しいことを取り入れながらより良い学校運営を目指したい」というお話もいただきました。次年度も益々活気のある学校運営をお願いいたします。

以上が本委員会における本年度の評価内容となります。